

## マウスの隔離検疫および SPF 化サービス

生命科学動物資源センター動物実験棟（B棟）の改修工事完了に伴い、2006年12月よりマウスの SPF 化サービスを再開致します。他大学や海外から導入するマウスは原則としてすべて SPF 化の対象となりますので、十分な時間的余裕をもって計画を立てご相談下さい。

搬入形態	供給元施設	対応	提出書類 <sup>☆</sup>	費用 <sup>§</sup>	利用者引渡しまでの手順
凍結胚	指定なし	胚移植	胚操作依頼書 微生物検査証	30,000 円 (1系統につき レシピエント3匹 までの料金)	融解 → SPF 偽妊娠♀に胚移植 → 検疫室で飼育 → 生後4週目に離乳 → 仮親を微生物検査 → 一般飼育室に移動
動物個体	指定ファーム <sup>#</sup>	一般飼育室 に直接搬入	動物搬入申請書		
	準指定ファーム <sup>*</sup>	検疫	動物搬入申請書 微生物検査証		検疫室で4週間 SPF おとりマウスと同 居 → おとりマウスを 微生物検査 → 一般飼育室に移動
	指定なし	SPF 化 (体外受精)	動物搬入申請書 胚操作依頼書 微生物検査証	60,000 円 (採卵用 C57BL/6♀10匹 の購入費用が 別途必要です)	体外受精 →SPF 偽妊娠♀に胚移植 →生後4週目に離乳 →仮親を微生物検査 →一般飼育室に移動
SPF 化 (帝王切開)		動物搬入申請書 微生物検査証	10,000 円 (帝王切開1腹 あたりの料金)	自然交配による帝王切開 → SPF 里親で哺育 → 生後4週目に離乳 → 仮親を微生物検査 →一般飼育室に移動	

<sup>#</sup> 指定ファームは、日本クレア、日本チャールスリバー、日本 SLC の 3 社です。

<sup>\*</sup> 準指定ファームには、Jackson Lab, Taconic Farm, Lexicon, 理研 BRC, 熊大 CARD, オリエンタル(SPF)が該当します。ただし、health report で肺パスツレラ菌やトリコモナス等が陽性の場合には、検疫ではなく SPF 化の対象となります。

<sup>☆</sup> 遺伝子改変マウスの場合には、「遺伝子改変動物搬入チェックシート」も提出して下さい。

<sup>§</sup> 微生物検査費用（38,000 円／2 匹）と検査動物の輸送費（26,250 円）が別途かかります。

【問合せ先】 生命科学動物資源センター・國田（内線：3384, E-mail：kunitasa@md.tsukuba.ac.jp）